
データの同期と共有 ユーザ ガイド

[FAMILY Given]

データの同期と共有: ユーザ ガイド

[FAMILY Given]

発行日 木曜日, 06. 10 月 2016バージョン 2.2.0

製作著作 © 2016–2016 OX Software GmbH. このドキュメントは OX Software GmbH. の知的所有物です。

このドキュメントの全部または一部をコピーする場合、各コピーにこの著作権情報を明記する必要があります。このドキュメントの内容は細心の注意を払って編集されていますが、情報の誤りを完全に排除することはできません。OX Software GmbH、著者、および翻訳者は、記述の誤りとそれによって生じる結果について、いかなる責任も負うものではありません。このドキュメントで用いられるソフトウェアの名称およびハードウェアの名称は登録商標である可能性があり、無償での使用が保証されているものではありません。OX Software GmbH は原則的に、製造元によるつづりの表記に従います。このドキュメントでは（注釈を付記せずとも）ブランド名、商標、ロゴなどを使用していますが、（商標とブランド名に関する法律により、）これらのブランド名等を無償で使用できることを示すものではありません。

目次

1	このドキュメントについて	5
2	Drive アプリケーションの用途	7
3	アプリケーションをインストールします。	9
3.1	デスクトップ クライアントのインストール	10
3.2	モバイル デバイスへのインストール	11
4	Driveアプリケーションを使う	13
4.1	ワークステーションでの使用	14
4.1.1	同期データを表示します	14
4.1.2	同期データを変更	14
4.1.3	追加アカウントを設定する	14
4.1.4	Office ドキュメントを開く	15
4.1.5	オブジェクトの共有	15
4.1.6	同期を一時停止	15
4.1.7	Driveアプリケーションを閉じます。	16
4.1.8	ワークステーションでの設定	16
4.2	モバイル デバイスでの使用	19
4.2.1	オブジェクトの閲覧、検索、ソート	19
4.2.2	オフラインでオブジェクトを利用可能にする	19
4.2.3	新規オブジェクトの作成	20
4.2.4	オブジェクトを管理	20
4.2.5	オブジェクトの共有	21
4.2.6	写真やビデオのための特殊な機能を使う	21
4.2.7	モバイル デバイス上での設定	22
4.3	注意	24

1 このドキュメントについて

このドキュメントを活用するために理解しておくべき情報を次のトピックごとに説明します。

- [このドキュメントの対象読者](#)
- [このドキュメントに記載されている内容](#)
- [その他のドキュメント](#)

このドキュメントの対象読者

このドキュメントは、デスクトップまたはモバイル デバイスのファイルやフォルダをグループウェアサーバと同期したいユーザを対象にしています。これを行うには、ローカルに Drive アプリケーションをインストールします。このドキュメントはユーザがモバイル デバイスを使うことができるという前提で書かれています。

このドキュメントに記載されている内容

このドキュメントは、次の情報が含まれます。

- [Drive アプリケーションの用途](#)では、Driveアプリケーションの使用方法について説明します。
- [アプリケーションをインストールします。](#) では、お使いのシステムに Drive アプリケーションをインストール、セットアップする方法について説明します。
- [Driveアプリケーションを使う](#) では、Drive アプリケーションの実際の使用方法について説明します。

このドキュメントでは、グループウェアの一般的なインストール方法と構成方法について説明します。ご利用のグループウェアのインストール バージョンならびに構成によっては、記載の方法と異なる場合があります。

その他のドキュメント

グループウェアに関する全般的な情報は、Groupwareのユーザ ガイドを参照してください。

2 Drive アプリケーションの用途

Driveアプリケーションを使用すると、お使いのローカル マシン/モバイル デバイスと Groupware サーバ間でデータの同期が行えます。同期するデータを指定します。

- ワークステーションで同期するには、次のフォルダを指定しなければなりません。
 - お使いのワークステーション上にあるローカル フォルダ。
 - リモートフォルダやGroupwareサーバ上の複数フォルダ。
- モバイル デバイスでは、同期するオブジェクトを選択するには「オフラインで利用可能」に印を付けます。

モバイル デバイスではさらに写真やビデオをサーバへアップロードすることも指定できます。この機能はフォトストリームといいます。

サーバに適用した変更は、ワークステーションとモバイル デバイスに反映されます。ワークステーションとモバイル デバイスに適用した変更は、サーバとその他のデバイスに反映されます。

下記の変更が同期されます。

- 新規ファイル
- ファイル内容の変更
- ファイル名の変更
- ファイルの削除
- 新規フォルダ
- フォルダ名の変更
- フォルダの削除

サーバ上の次のフォルダを同期するように選択できます。

- 個人用フォルダ
- パブリックフォルダ、共有フォルダ

サーバ構成によって同期のできないフォルダがあります。

読み取りまたは編集アクセスのあるファイルおよびフォルダを共有することによって、他のユーザまたは外部のパートナーと協力するには Drive アプリケーションを使うことができます。

次のシステムがサポートされています：

- MS Windows
- Mac OS
- iOS
- Android

3 アプリケーションをインストールします。

Drive アプリケーションのインストールの仕方を学ぶ：

- [ワークステーションでのインストール](#)
- [モバイル デバイスでのインストール](#)

注： この機能を使用するには、グループウェア サーバで、Drive を利用可能にする必要があります。詳細は、管理者またはホスティング事業者にお問い合わせください。

3.1 デスクトップ クライアントのインストール

ワークステーションで Drive アプリケーションをインストールする

1. ご利用の **システム [7]** に適したインストール プログラムをダウンロードします。
ご利用の Windows または Mac OS ワークステーション用のインストール プログラムをダウンロードするには、グループウェア設定のサイドバーにある**ダウンロード**をクリックします。Mac OS ワークステーション用インストールプログラムが App Store にあります。
Groupware サーバの構成によっては、インストール情報ウィジェットがポータル ページに表示されま
す。
 2. インストール プログラムを起動します。ウィザードでは、手順ごとに説明が表示されます。画面の指
示に従います。
インストールが完了するとすぐに、**セットアップ ウィザード** が表示されます。
 3. ようこそ！ ドライブページに次の情報を入力してください。
Groupware サーバの Web アドレス (URL)
Groupware サーバ用のユーザ名とパスワード
ログイン をクリックします。Groupware サーバにログインします。
 4. 同期するフォルダの指定の方法は、ワークステーションで動いているオペレーティングシステムによっ
て異なります。
 - MS Windows ワークステーションの場合、ローカルフォルダと互いに同期するサーバのフォルダを指
定します。設定が完了した **ドライブ** で指定することができ、ページで開始します。そのために、
フォルダ設定のカスタマイズをクリックします。フォルダ設定 ページが表示されます。
ローカルフォルダを選択するには、**ローカルフォルダ**の隣にある**変更**をクリックします。ローカル
フォルダに入ります。
サーバのフォルダを選択するには、**同期フォルダ**の隣にある**変更**をクリックします。サーバのフォ
ルダを一つ、または複数選択します。
フォルダ設定を完了するには、下部のアイコンをクリックします。
 - MAC OS ワークステーションの場合は、どのフォルダを同期したいか聞かれます。
インストール後にフォルダを再指定できます。
すでにデータの入ったローカルフォルダを指定するときには、データがローカルでサブフォルダに移動
します。毎回お知らせがあります。
 5. 設定を完了するには **開始**をクリックします。
- 結果：** フォルダが同期されます。データ量によって、このプロセスに多少時間がかかることがあります。

3.2 モバイル デバイスへのインストール

ワークステーションで Drive アプリケーションをインストールする

1. ご利用のモバイル デバイスのアプリケーション ストアにアクセスします。Drive アプリケーションをインストールします。
グループウェア設定のサイドバーにある **ダウンロード** をクリックすると、Groupware サーバにダウンロード リンクが表示されます。
Groupware サーバの構成によっては、アプリケーション ストアへのリンクウィジェットがポータルページに表示されます。
2. インストールが完了すると、ウィザードが起動し、次に行う手順が指示されます。
 - グループウェア サーバのサーバ URL を入力します。
 - グループウェア サーバの認証情報を使用します。
 - 写真やビデオをグループウェアサーバにアップロードするかどうかを指定できます。あとで設定の機能を有効、もしくは無効にすることができます。設定が完了するとすぐに、個人用 Drive フォルダが表示されます。フォルダをオフラインで利用可能にするには、次の手順に従います。
 - フォルダの隣にあるメニューアイコンをタップします。
 - メニューで**オフラインで利用可能** を有効にします。

結果： フォルダが同期されます。データ量によって、このプロセスに多少時間がかかることがあります。

4 Driveアプリケーションを使う

Driveアプリケーションをインストールするとすぐにバックグラウンドで動作しますので、ユーザは何も操作する必要はありません。ただし、情報の確認や構成する際は、それらの機能を使用できます。Drive アプリケーションをワークステーションで使用するか、モバイル デバイスで使用するかによって使用可能な機能が異なります。

- ワークステーションでは、次の機能が利用できます。
- モバイル デバイスでは、次の機能が利用できます。
- [利用ガイドライン](#)

4.1 ワークステーションでの使用

ワークステーションでは、次の機能が利用できます。

- 同期データを**表示**
- 同期データを**変更**
- 追加フォルダを同期するために追加アカウントを**設定**
- ローカルフォルダにOfficeドキュメントを**表示**
- 他のユーザまたは外部のパートナーとのファイルおよびフォルダの共有のために**共有**を使う
- 同期を**停止**または**再開**
- Drive アプリケーションを**閉じる**。
- **設定** のカスタマイズ

4.1.1 同期データを表示します

同期データを表示

1. Drive アイコンのコンテキスト メニューを開きます。
2. 次のようなオプションの機能を使います：

以前に変更されたデータの一覧を表示するには、**以前に変更されたデータ**を選択します。
ご利用のシステムのファイルブラウザでローカルフォルダを開くには、**Drive フォルダを開く**を選択します。

ヒント： インストールによって、Drive デスクトップアイコンでローカルフォルダを表示することもできます。

4.1.2 同期データを変更

同期するフォルダを変更できます。

ワークステーションの同期するフォルダを変更する

1. Drive アイコンのコンテキスト メニューを開きます。
2. コンテキスト メニューから**設定**を選択します。
3. **設定** ページで、**同期オプション**を選択します。設定はアカウントごとに別々に表示されます。
同期するフォルダを変更するには、それぞれのボタンをクリックします。

4.1.3 追加アカウントを設定する

他のフォルダにあるデータを同期するための追加アカウントを設定できます。

追加プロフィールを作成

1. Drive アイコンのコンテキスト メニューを開きます。
2. コンテキスト メニューから**設定**を選択します。
3. **設定** ページで、**アカウント**を選択します。
新規アカウントをクリックします。セットアップウィザードが表示されます。
4. サーバアドレスと認証情報を入力します。**ログイン** をクリックします。
次のページで、**フォルダ設定のカスタマイズ**をクリックします。同期するフォルダを選択します。

4.1.4 Office ドキュメントを開く

グループウェアのローカル Drive フォルダのドキュメントを表示して、閲覧または編集できます。

Office ドキュメントを開く

1. ご利用のシステムのファイルブラウザでローカル Drive フォルダーを開きます。
2. ローカル Drive フォルダのテキストドキュメント、またはスプレッドシートのコンテキストメニューを表示します。
ドキュメントを表示するには、この機能を選択します。
 - MS Windows システムの場合：ドライブ > App Suiteでプレビュー
 - Mac OS システムの場合：App Suiteでプレビュードキュメントを編集するには、この機能を選択します。
 - MS Windows システムの場合：ドライブ > App Suiteで編集
 - Mac OS システムの場合：App Suiteで編集

注：Office ドキュメントの編集情報は、Documents ユーザーガイドを参照してください。

4.1.5 オブジェクトの共有

読み取り権限や書き込み権限でローカル Drive フォルダの内容を共有することもできます。この機能を使用して、グループウェアサーバのオブジェクトを共有できます。

ワークステーションのオブジェクト共有する

1. ご利用のシステムのファイルブラウザでローカル Drive フォルダーを開きます。
2. ローカル Drive フォルダでフォルダまたはファイルのコンテキストメニューを表示します。
次の機能のいずれか一つを選択します：
 - 内部ユーザまたは外部パートナーを共有ファイルに招待メールを送るにはこの機能を選択します。
 - MS Windows システムの場合：ドライブ > 招待
 - Mac OS システムの場合：招待次のページで、共有の権限を指定します。
 - 読み取り権限でデータを共有するために、この機能を選択します。
 - MS Windows システムの場合：ドライブ > ダイレクトリンク
 - Mac OS システムの場合：ダイレクトリンク次のページで、リンクの有効期限やアクセスパスワードの設定ができます。
メール、メッセージャーまたはソーシャルネットワークを使ってリンクやパスワードを送ることができます。

注：共有ファイル、または権限に関する全般的な情報は、グループウェアのユーザ ガイドを参照してください。

4.1.6 同期を一時停止

全てのアカウントまたは一つのアカウントの同期を一時停止し、再開することができます。

全てのアカウントの同期を停止する

1. Drive アイコンのコンテキストメニューを開きます。
2. 同期の一時停止を選択します。
同期を再開するには、同期を再開 をクリックします。

一つのアカウントの同期を停止する

1. Drive アイコンのコンテキスト メニューを開きます。
2. コンテキスト メニューから**設定**を選択します。
3. 設定ページで、**同期オフ**オプションを選択します。設定はアカウントごとに別々に表示されます。次のアクションを行います。
 - MS Windows システムの場合：
アカウントの同期を停止するには、アカウント設定の**同期オン**アイコンをクリックします。同期を停止します。アイコンのラベルが**同期オフ**に変更されます。
同期を再開するには、**同期オフ**をクリックします。アイコンのラベルが**同期オン**に変更されます。
 - Mac OS システムの場合：
アカウントの設定を表示します。
このアカウントのファイルの同期は有効にするのチェックボックスを無効にします。

4.1.7 Driveアプリケーションを閉じます。

Driveアプリケーションを閉じる：

1. Drive アイコンのコンテキスト メニューを開きます。
2. **ドライブを閉じる**を選択

4.1.8 ワークステーションでの設定

ワークステーションで Drive クライアント機能を使用する：

1. Drive アイコンのコンテキスト メニューを開きます。
2. コンテキスト メニューから**設定**を選択します。

MS Windows と Mac OS では設定は異なります。

環境設定、MS Windows

次の設定が利用できます。

■ 全般

言語 Drive アプリケーションのユーザ インターフェースの言語を指定します。

自動起動システム起動時に Drive アプリケーションが自動的に起動するかどうかを指定します。

Windows Explorer への統合 この機能をインストールすると、Windows Explorer にフォルダとファイルの同期の状態が表示されます。

- アカウント アカウントには、サーバアドレス、ログインデータ、サーバフォルダ、ローカルフォルダ、保存量が含まれます。複数のサーバフォルダやローカルフォルダ、または複数のサーバのデータを同期するには、複数のアカウントを設定します。ここでは、次の機能が利用できます。
 - アカウントを削除 ボタン このアカウントに設定されている同期を終了します。アカウントを削除します。

注：この機能を使用すると、データは、ローカルからもサーバからも削除されます。
 - 新規アカウント ボタン 新規アカウントを作成するための Drive セットアップ ウィザードを起動します。
- 同期オプション アカウントのためのローカルフォルダおよびサーバフォルダを変更できます。ここでは、次の機能が利用できます。
 - ローカルフォルダ ローカルフォルダを表示します。このアカウント用にローカルフォルダを使用するには、**変更**をクリックします。
 - 同期オン ボタン アカウントの同期が有効であることを表示します。ボタンをクリックすると、アカウントの同期が終了します。ボタンが**同期オフ**に変更されます。再度クリックすると、同期が再開します。
 - Driveサーバアドレスを表示します。このアカウントに別のサーバを使用するには、**変更**をクリックします。
- 通知 同期中に発生したエラーを表示します。同期中断の通知があった場合は、**繰り返し**をクリックします。可能であれば、同期が行われます。
- プロキシ 使用しているプロキシの設定を表示します。ここでは、プロキシ設定を変更できます。
- バージョン情報 Drive アプリケーションバージョンと更新ステータスに関する情報を表示します。ここでは、次の機能が利用できます。
 - 診断モード 総合情報をログファイルに書き込むかどうかを指定します。診断モードが無効の場合、簡略した情報のみが書き込まれます。アプリケーションと同じディレクトリにログファイルが保存されます。
 - 自動インストール更新 新バージョンが利用可能になればすぐに、アプリケーションが自動で更新されるかどうかを指定します。

設定, Mac OS

次の設定が利用できます。

▪ 全般

言語 Drive アプリケーションのユーザ インターフェースの言語を指定します。

自動起動 システム起動時に Driveアプリケーションが自動的に起動するかどうかを指定します。

Windows Explorer への**統合** この機能をインストールすると、Windows Explorer にフォルダとファイルの同期の状態が表示されます。

- アカウントアカウントには、サーバアドレス、ログインデータ、サーバフォルダ、ローカルフォルダ、保存量が含まれます。複数のサーバフォルダやローカルフォルダ、または複数のサーバのデータを同期するには、複数のアカウントを設定します。ここでは、次の機能が利用できます。
 - **アカウントを編集** ボタンサーバのウェブページ (url)、ユーザー名、パスワードを入力するページを表示します。
 - **アカウントのリンク解除** ボタンこのアカウントに設定されている同期を終了します。アカウントを削除します。

注：この機能を使用すると、データは、ローカルからもサーバからも削除されます。
 - **新規アカウントを追加** ボタン。新規アカウントを作成するための Drive セットアップ ウィザードを起動します。
- **同期設定** アカウントのためのローカルフォルダおよびサーバフォルダを変更できます。ここでは、次の機能が利用できます。
 - **このアカウントのファイルの同期は有効にする** チェックボックスこのアカウントで同期を行うかどうかを指定します。
 - **DriveこのMacのフォルダ** ローカルフォルダを表示します。このアカウントの別のローカルフォルダを使用するには、**フォルダを変更** をクリックします。
 - **このMacで同期するフォルダを選択** このアカウントに別のサーバを使用するには、**フォルダを選択** をクリックします。
- **通知** 同期中に発生したエラーを表示します。同期中断の通知があった場合は、**繰り返し** をクリックします。可能であれば、同期が行われます。
- **プロキシ** タブ使用しているプロキシの設定を表示します。ここでは、プロキシ設定を変更できません。
- **バージョン情報** タブ Driveアプリケーションバージョンと更新ステータスに関する情報を表示します。ここでは、次の機能が利用できます。
 - **診断モード** 総合情報をログファイルに書き込むかどうかを指定します。診断モードが無効の場合、簡略した情報のみが書き込まれます。Drive アプリケーションと同じディレクトリにログファイルが保存されます。
 - **自動インストール更新** 新バージョンが利用可能になればすぐに、アプリケーションが自動で更新されるかどうかを指定します。

4.2 モバイル デバイスでの使用

モバイル デバイスでは、次の機能が利用できます。

- オブジェクトの**閲覧**、**検索**、**ソート**
- **オフライン**でオブジェクトを利用可能にする
- フォルダや写真のような新規オブジェクトを **作成** する
- オブジェクトの移動、名前の変更、削除などでオブジェクトを **管理** する
- 他のユーザまたは外部のパートナーとのファイルおよびフォルダの共有のために**共有**を使う
- **写真やビデオ** 用の特殊な機能
- **設定** のカスタマイズ

4.2.1 オブジェクトの閲覧、検索、ソート

オブジェクトを表示するには、次の機能を使用します：

- 表示するオブジェクトを選択します：全てのオブジェクトまたは写真や最近使用したファイルのような特定のオブジェクト
- ビューの選択：グリッドまたはリスト
- オブジェクトを検索するための検索用語の使用
- 名前、サイズ、日付でのオブジェクトのソート

モバイル デバイスでオブジェクトを表示する

1. Drive アプリケーションで、メニュー アイコンをタップします。 **ファイル** を選択します。
特定のオブジェクトのみを表示するには、その他のビューも利用できます。
 - **全ての画像** は画像とビデオのみを表示します。
 - **最近開いた** は最近開いたファイルのみを表示します。
 - **オフラインで利用可能** はモバイル デバイスへダウンロードしたファイルまたはフォルダのみを表示します。データはローカルに保存されます。これにより、サーバ接続がない場合でもデータが利用可能になります。
 - **カメラからのインポート** はカメラアップロードを使ってサーバへアップロードされた写真またはビデオのみを表示します。
 - **自分の共有ファイル** はサーバーで他のユーザーと共有しているファイルまたはフォルダのみを表示します。
2. フォルダを開くには、フォルダをタップします。
注： 選択したビューによって、フォルダは表示されない可能性があります。
3. 機能バーで、目的の機能を選択します。
 - ビューを選択するには、右側にあるメニューアイコンをタップします。選択したビューに応じて、次のいずれかの方法を使用します。 **リストビュー**、 **アイコンビュー**。
 - オブジェクトをソートするには、右側のメニューアイコンをタップします。 **ソート** をタップします。
 - オブジェクトを検索するには、 **検索** アイコンをタップします。検索用語を入力します。
名前に検索用語を含むオブジェクトが表示されます。注： 選択したビューによって、利用可能な機能が異なります。
4. オブジェクトの詳細ビューを表示するには、そのオブジェクトをタップします。

4.2.2 オフラインでオブジェクトを利用可能にする

モバイル デバイスでは、オブジェクトをオフラインで利用可能にするには、サーバからモバイル デバイスへオブジェクトをダウンロードします。オフラインで利用可能になる時点でオブジェクトの変更が同期されます。

モバイル デバイスで単一のオブジェクトをオフラインで利用可能にする

1. Drive アプリケーションで、メニュー アイコンをタップします。全てのファイル またはその他の適したビューを選択します。
2. ファイルとフォルダのリストで、目的のオブジェクトを選択します。
オブジェクトの隣にあるメニュー アイコンをタップします。
3. メニューでオフラインで利用可能 を有効にします。

ヒント： オフラインで利用可能なオブジェクトのみを表示するには、メニューアイコンをタップします。オフライン を選択します。

4.2.3 新規オブジェクトの作成

モバイル デバイスによって、次のいずれかの機能を使用して新規オブジェクトを作成できます。

- 新規フォルダを作成します
- 既存の写真やビデオ、新規の写真の追加

モバイル デバイスで新規オブジェクトを作成する

1. Drive アプリケーションで、メニュー アイコンをタップします。ファイル を選択します。
2. 新規オブジェクトを作成する先のフォルダを開きます。
3. 下部の 追加 アイコンをタップします。
4. メニューで、目的の機能を選択します。
 - 新規の写真を撮影して、追加するには、カメラから を選択します。
 - 新規フォルダを作成するには、新規フォルダを作成 を選択します。
 - 既存の写真やビデオを追加するには、画像またはビデオ を選択します。

4.2.4 オブジェクトを管理

モバイル デバイスでは、オブジェクト管理のために次の機能を使用できます。

- 単一のオブジェクト の移動、名前の変更、削除
- 複数のオブジェクト の移動、削除

モバイル デバイスでの単一のオブジェクトを移動、名前の変更、削除をする

警告： Driveアプリケーションで、オブジェクトを削除すると、そのオブジェクトはサーバや他のすべてのクライアントからも削除されます。

1. Drive アプリケーションで、メニュー アイコンをタップします。全てのファイル またはその他の適したビューを選択します。
2. ファイルとフォルダのリストで、目的のオブジェクトを選択します。
オブジェクトの隣にあるメニュー アイコンをタップします。
3. メニューで、機能をタップします。
 - オブジェクトの名前を変更するには 名前を変更 を選択します。
 - オブジェクトの移動するには 移動 を選択します。
 - オブジェクトの削除するには 削除 を選択します。

モバイル デバイスでの複数のオブジェクトの移動、削除をする

警告： Driveアプリケーションで、オブジェクトを削除すると、そのオブジェクトはサーバや他のすべてのクライアントからも削除されます。

1. アプリケーションで、メニュー アイコンをタップします。 **全てのファイル** またはその他の適したビューを選択します。
2. フォルダを開くには、フォルダをタップします。
3. 機能バーの右側にあるメニューアイコンをタップします。 **複数選択**をタップします。チェックボックスは、オブジェクトの隣に表示されます。
4. オブジェクトをタップして、一つまたは複数のオブジェクトを選択します。
5. リストの下の目的の機能を選択します。
 - 選択したオブジェクトを削除するには、 **削除**をタップします。
 - 選択したオブジェクトを移動するには、 **移動** をタップします。オブジェクトを移動する先のフォルダを選択します。

4.2.5 オブジェクトの共有

モバイル デバイスで読み取り権限または編集権限のあるオブジェクトを共有できます。この機能を使用して、グループウェアサーバのオブジェクトを共有できます。

モバイル デバイスでオブジェクトを共有する

1. Drive アプリケーションで、メニュー アイコンをタップします。 **全てのファイル** またはその他の適したビューを選択します。
2. ファイルとフォルダのリストで、目的のオブジェクトを選択します。オブジェクトの隣にあるメニュー アイコンをタップします。
3. 次の機能のいずれか一つを選択します：
 - 内部ユーザまたは外部パートナーを共有ファイルに招待メールを送るには **招待** を選択します。新規ページを表示します。メールアドレスおよびメッセージを入力します。規定の許可をタップして、カスタマイズします。手順を完了するには、下部の**共有を更新**をタップします。
 - 読み取り権限でデータを共有するために、 **ダイレクトリンク**を選択します。次のページで、リンクの有効期限やアクセスパスワードの設定ができます。メール、メッセージまたはソーシャルネットワークを使ってリンクやパスワードを送ることができます。

注： 共有ファイル、または権限に関する全般的な情報は、グループウェアのユーザ ガイドを参照してください。

モバイル デバイスでオブジェクトの共有を管理する：

1. Drive アプリケーションで、メニュー アイコンをタップします。 **自分の共有ファイル**を選択します。
2. ファイルとフォルダのリストで、目的のオブジェクトを選択します。オブジェクトの隣にある共有アイコンをタップします。メニューの利用したい機能をタップします。

4.2.6 写真やビデオのための特殊な機能を使う

モバイル デバイスでは、写真やビデオ用の追加機能も利用できます。

- サーバへ転送された写真やビデオの概要を **表示**する。
- サーバ側で**存在する**全ての写真やビデオの概要
- 写真やビデオを Chromecast、Apple TV または Fire TV に接続されている画面へ **転送**する（モバイルデバイスによって異なります）。

アップロードされた写真やビデオの概要を表示する

1. Drive アプリケーションで、メニュー アイコンをタップします。
2. **カメラからのインポート**を選択します。

結果：カメラからのインポート ページでは、モバイル デバイスのカメラからインポートされたすべての写真やビデオが表示されます。これには、カメラアップロード 機能を使用します。

写真やビデオの概要を表示する

1. Drive アプリケーションで、メニュー アイコンをタップします。
2. **全ての画像** を選択します。サーバ上の個人用フォルダにある写真やビデオを表示します。
内容をソートやビューを変更するには、機能バーの右側にあるメニューアイコンをタップします。

写真やビデオを別の画面へ転送する：

注： 次のデバイスが利用できます。

- iOS モバイル デバイス：Apple TV、Fire TV
- Android モバイル デバイス：Chromecast、Fire TV

1. Drive アプリケーションで、メニュー アイコンをタップします。
2. **全ての画像** を選択します。サーバ上の個人用フォルダにある写真やビデオを表示します。
写真やビデオをタップすると表示されます。
3. 機能バーの右側にあるメニューアイコンをタップします。もう一つの画面に接続を選択します。
4. 利用可能なデバイスを選択します。

4.2.7 モバイル デバイス上での設定

モバイル デバイスで Driveアプリケーション設定を使用する

1. Drive アプリケーションで、メニュー アイコンをタップします。
2. **設定** を選択します。

次の設定が利用できます。

- サイン アウト
- 割当量
- 全般
- カメラからのインポート
- バッテリー
- ネットワーク
- サポート

サイン アウト

サイン アウトします。同期を停止します。

割当量

グループウェア サーバの割当量の上限に関する情報が表示されます。

全般

様々な設定と情報を表示

- **アプリケーション起動時での同期**アプリケーションの起動後に自動的に同期を開始するかどうか設定します。
- **変更の自動同期**変更後に自動的に同期を開始するかどうか設定します。
- **キャッシュ サイズの制限**同期データ用の空き容量を指定します。
- **サーバ URL**同期に使用されるサーバのアドレスを表示します。
アドレスを変更するには、**変更**をタップします。

カメラからのインポート

モバイル デバイスで撮影した写真をサーバに転送するかどうか設定します。

- **カメラからのインポート**アップロードを有効化または無効化します。
- **ビデオを含むビデオ**もアップロードされます。
- **すべての写真**モバイル デバイス上の写真やビデオとこれから撮影する写真やビデオすべてを転送します。
- **新規写真のみ**この機能を有効にした後に撮影された写真やビデオのみをインポートします。
- **バックグラウンド アップロードを有効化**Drive アプリケーションは開いていない状態でも写真やビデオをサーバへ転送します。

バッテリー

同期を許可するバッテリー状態を指定します。

- **充電中にのみ同期**充電時にのみ同期します。
- **次の場合に同期を一時停止**バッテリーの容量が特定のレベル以下になった場合に同期を一時停止するかどうか設定します。

ネットワーク

同期するのに使用される接続のタイプを指定します。

サポート

このユーザ ガイドを表示します。

警告： **アプリケーションをリセット** をクリックすると、アプリケーション内の同期済みデータが全てローカル上から削除されます。サーバのデータは維持されます。モバイル デバイス上のデータを再度使用するには、同期し直します。

4.3 注意

パスワードの変更

Driveではパスワードは変更できません。ドライブ はグループウェアへのアクセスの場合と同じパスワードを使用します。

名前の制限

ファイルやフォルダを正常に同期させるには、これらの名前に特定の文字を含めないでください。

- 次のいずれかの文字がファイル名やフォルダ名にあると、それらのファイルやフォルダは同期されません。

<> : " / \ | ? *

- 次のすでに使用されているデバイス名がファイル名やフォルダ名にあると、それらのファイルやフォルダは同期されません。

CON, PRN, AUX, NUL, COM1, COM2, COM3, COM4, COM5, COM6, COM7, COM8, COM9, LPT1, LPT2, LPT3, LPT4, LPT5, LPT6, LPT7, LPT8, LPT9

- 次のファイルは同期されません。

desktop.ini, Thumbs.db, .DS_Store, icon\r

拡張子が .drivepart のファイル

Office アプリケーションでロックされたファイルなどの一時ファイル

- 次のフォルダは同期されません。

/.drive

ソフトウェアの開発状態によって、同期されないファイルやフォルダが増える可能性があります。

ファイル名の太文字と小文字

一部のシステムでは、フォルダ内のファイル名は太文字と小文字が区別されます。ローカル フォルダにそのようなファイルを作成する場合、そのうちの一つのみが同期されます。ローカル フォルダでは、太文字と小文字が異なるだけのファイル名は使用しないでください。

複数のファイルを一度に編集しないでください。

データの損失を防ぐため、ローカル フォルダとリモート フォルダのファイル、または複数のクライアントのファイルを同時に編集しないでください。

ファイル バージョン

ローカル フォルダのファイルを変更した場合、Drive では、リモート フォルダに新規のバージョンのファイルが作成されます。ローカル フォルダでは、最新のバージョンのファイルのみが表示されます。